

## 株式会社アスエク

ワーケーション先	香川県高松市
日程	12月10日～12日
参加者数	4人
ワーケーション内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・高松市から紹介いただいた漆芸家、高松市役所や高松市内観光事業者インタビュー</li><li>・丸亀町商店街の視察</li><li>・Setouchi-i-Baseにて個人ワークや打合せ など</li></ul>
参加理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・旅を軸とした事業を展開しており、旅先でメンバーと事業について議論することは有意義であると考えたため。</li><li>・瀬戸内国際芸術祭等で注目が集まる瀬戸内の中核都市で新たな事業機会がないか模索するため。</li></ul>
訪問して感じたワーケーション先自治体の魅力	香川県の県庁所在地であり、ワーケーションに必要な環境が整っている点が魅力です。また、海が近く、身近に自然を感じながら働くことができる環境も大きな特徴です。今回は訪問できませんでしたが、男木島や女木島などの島々もあり、こうした島でワーケーションを行えることも大きな魅力の一つだと感じました。
今回のワーケーションで得た気づき	<p>今回のワーケーションを通じて、高松市は都市機能と自然環境、そして深い歴史・文化資源が近接して存在する稀有な地域であり、次世代のワーケーション拠点として大きな可能性を有していることを実感しました。市内にはドロップイン可能なワーク拠点や通信環境が整備されており、瀬戸内海を望む開放的な環境の中で業務を行うことで、働きやすさとウェルビーイングの向上を両立できることを体感しました。</p> <p>また、漆芸や庵治石といった伝統工芸の背景にあるストーリーや、地域住民との対話を通じて見えてきた生活文化や歴史は、単なる観光資源に留まらず、地域の価値そのものを深く理解する重要な要素であることを学びました。これらの資源は、ワークショップや文化体験として展開することで、訪問者にとって高い付加価値を持つコンテンツとなり得る可能性を感じました。</p> <p>さらに、地域の素材や歴史的背景を活かしながら新たな価値を創出する取り組みは、単なる観光消費ではなく、地域の価値を再生・向上させるリジェネラティブ・ツーリズムの実践につながるものであると認識しました。</p>

## 本事業に参加した感想

本事業に参加したことで、高松市が持つ観光資源の多様性と、それらが持つ将来性を実体験として理解することができました。都市としての利便性を備えながらも、海や自然に近接し、地域文化や歴史が日常の中に息づいている環境は、働きながら地域に深く関わるワーケーションの理想的な条件を備えていると感じました。

また、行政や地域事業者との対話を通じて、地域の歴史や文化といった目に見えにくい資産を理解し、それらをどのように観光コンテンツとして再構築していくかについて、多くの示唆を得ることができました。官民の連携により地域の価値を適切に発信していくことの重要性を改めて認識しました。

今回の経験を通じて、高松市は単なるワーク環境の提供に留まらず、地域の価値や文化を深く理解しながら働くことができる場所であり、今後のワーケーションやリジェネラティブツーリズムの推進において重要な拠点となり得ると強く感じました。

